

報告日 令和7年2月5日
報告回次 2日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長野原町			代表者名	萩原 睦男
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	0279-82-2244
担当者役職	主任	担当者氏名	楠見 真孝	連絡先E-mail	
住所	377-1392 群馬県長野原町大字長野原				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名（予定）	長野原町DX推進計画事業
概要	長野原町のDXを進めるため、その鍵を握るデジタル人材の確保及び育成を行う。今年度、新たにDXプロジェクトチームと各課から選出されたDXマネジメントチームとともに長野原町DX推進計画の策定を目指すうえで重点的に取り組むべき事項や最優先事項等について支援及び助言をいただきたい。		
支援を求める分野	計画策定支援 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	有	322	令和7年1月29日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月24日	支援・助言(実地)	9時00分	16時00分	60
			活動時間（分）	360	
2-2.	会場名	長野原町住民総合センター		最寄駅	長野原草津口駅
派遣場所	所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字長野原1340番地1		最寄駅からの交通手段	送迎

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">・研修支援について事前に本町の特性をリサーチされており、DXプロジェクトチームなどの職員体制についての確にご理解いただけた点。・計画支援について本町の目指すDX推進計画に対し、取り組むべき事柄をご自身の経験や他の事例を用いながら丁寧に説明いただけた点。
アドバイザーへの要望事項	研修の参加者にはDXについて初學者もおりますため、誰一人取り残されないような研修をお願いします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	50人
	属性 自治体職員 住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数 39 0	0	11
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none">・計画策定について計画策定に向けてのタスクが未だ明確に具現化できておらず、どのように計画をまとめていくかが不明瞭である点。・DXについて職員等にDXという言葉が共通言語化していない点。		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none">・研修について初學者向けのマインド研修より、DX分野における基礎知識の醸成。・計画策定について長野原町DX推進計画の素案の作成。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	午前は職員向け、午後は議員向けセミナーと当日の振り返りを実施。 ・研修について 「DXとは何か」という疑問をお持ちの方に、DXはモノではなく、概念であることをご教授いただきました。DXを進める上で大切な見方として、目標を先に定める「ムーンショット」、そこから逆引きで考える「バックキャスト」など、具体的かつわかりやすい内容で構成されていた。職員、議員ともにDXにおける基礎知識が浸透したように思います。 ・当日の振り返りについて 職員がセミナーを通じて必要性を感じた事項を後日実施のアンケートから整理することで、職員が求めているものが把握できる。その中から実現可能なものを選び、計画に反映する方法が効果的である。DXマネジメントチームが能動的に活躍できるような環境を整えると良い。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	全体の約8割の職員、全議員に受講いただき、DXが共通言語として根付くことができたように思います。他市町村で戸籍抄本がコンビニで10円で取れることを知り、当町も同様な形でサービスを提供できるよう、実現に向けて調整を進めている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 計画案を作成できていないため、今回の成果物はありませんが、DXに係る概念が職員及び議員と共通言語化できたこと。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	計画の素案を提示して各施策についてご意見を頂く予定でしたが、素案の提示が間に合わなかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 DX研修セミナーを受講された職員等に対して後日アンケートを実施し、アンケート結果から2月を目前に改善に向けた分析を行う。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定 现阶段では未定です。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DXプロジェクトチーム及びDXマネジメントチームだけでなく、職員や町議会議員と共創しながら、誰一人取り残さないをモットーにDXを進めていくとともに、長野原町DX推進計画の作成を目指す。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

